

## 県育成の梨新品種の栽培実証モデルプラン

事業実施主体名	長谷川 義博	住 所	鳥取市
プラン認定日	平成18年9月1日	プラン期間	平成18年～平成22年

### 1 プラン内容

#### (1) 概要

現在栽培している古い品種から、県が育成した梨の新品種へ改植し、新品種の栽培に地域で先駆的に取り組み、栽培技術を早期に確立することを目指す。

また、栽培品種を黒斑病に強い品種へ改植して全体的に果樹園の若返りを図ることで農薬費・肥料費を削減し、所得向上を目指す。更に、おいしい梨を作るため、果樹園の土づくりを進める。

これらの取り組みにより、自己の経営の安定を図るとともに、地域の農家に新品種の技術提供を行い地域の梨栽培の活性化を図る。

#### (2) 取り組みポイント

- 「おさ二十世紀」の一部、「幸水」、「新興」を、県の新品種（「おさゴールド」「なつひめ」「新甘泉」等）に更新する。
- 強風・積雪に強い突き上げ棚方式の果樹棚を整備する。
- ソルゴーの作付面積を増加させ、土作りを行う。

#### (3) 事業の概要

年度	内 容	事業費 (千円)	補助金額(千円)	
			県	市町村
H18	果樹棚整備 (48a)	3,100	1,033	517
合 計		3,100	1,033	517

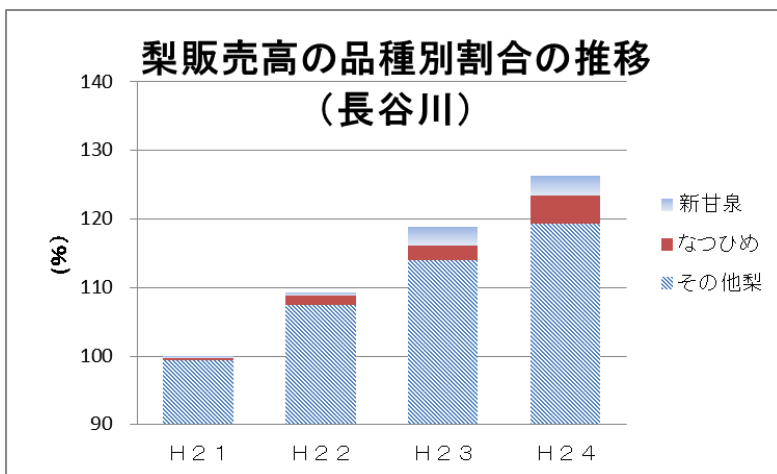
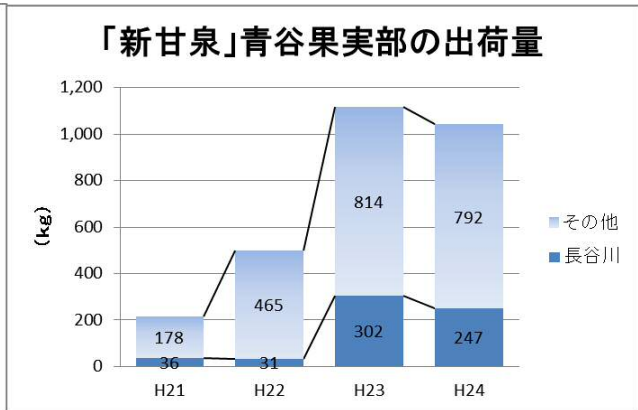
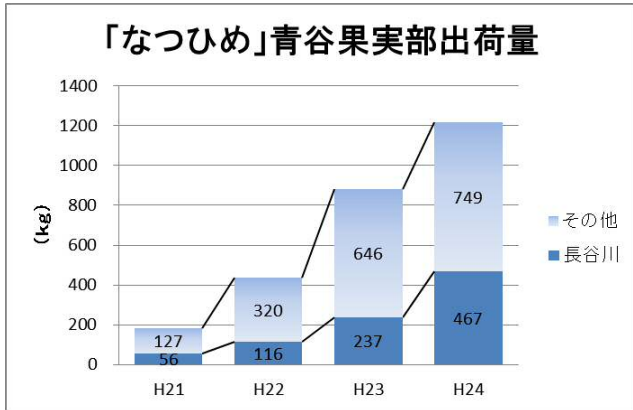
### 2 プラン実施状況

#### (1) 労働力、経営内容

	認 定 時	現 状
労働力 (雇用)	家族労力 2人 雇用労力 15人役	家族労力 2人 雇用労力 30人役
経営内容・規模	梨 80a おさ二十世紀 50a ゴールド二十世紀 15a 幸水・新興 15a  水田 60a	梨 70a おさ二十世紀 10a ゴールド二十世紀 15a おさゴールド 30a なつひめ 10a、新甘泉 3a 王秋 2a 水稲 50a わさび 5a 野菜 10a ソルゴー 60a

(2) 成果

- 青谷果実部の新品種において長谷川氏の出荷量は「なつひめ」38%(H24)、「新甘泉」24%(H24)になっている。新品種の指導会もこの園で開催しており、町内の梨新品種栽培の中心として活用されている。



高齢化のため、これ以上の栽培面積の増加は困難であるが、新品種の収穫量の増加に伴い所得が向上しており、今後更に増加が見込まれる。

生産者の中には、高齢化のため新品種の導入に躊躇していたが新植、接ぎ木で新品種を増やすケースも出てきている。



(写真1)

傾斜地にオールバック整枝されている「なつひめ」等の新品種。園内道も整備しており、作業性は他の傾斜地に比べて良い。(H23 秋撮影)



(写真2)

ソルゴーを毎年樹のまわりにマルチとして敷き、土壌改良時にはバックホーを使って埋め戻しており、土壌改良が十分行われている。

化学肥料の使用も控えてエコファーマーの申請もしている。(H23 秋撮影)

[東部総合事務所農林局]